

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年8月9日

【四半期会計期間】 第42期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 株式会社ハマキョウレックス

【英訳名】 HAMAKYOREX CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大須賀 秀徳

【本店の所在の場所】 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

【電話番号】 (053)444-0054

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員管理本部長兼経営企画室長及び
内部統制室長
山崎 裕康

【最寄りの連絡場所】 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

【電話番号】 (053)444-0054

【事務連絡者氏名】 常務取締役執行役員管理本部長兼経営企画室長及び
内部統制室長
山崎 裕康

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間		第42期 第1四半期 連結累計期間		第41期	
	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
営業収益 (百万円)		22,373		22,132		89,935
経常利益 (百万円)		1,605		1,747		6,552
四半期(当期)純利益 (百万円)		828		870		3,423
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		903		955		3,951
純資産額 (百万円)		25,528		29,129		28,382
総資産額 (百万円)		85,772		85,392		85,164
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		99.18		104.27		409.84
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		25.6		29.5		28.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第42期第1四半期連結累計期間より金額の表示単位を千円単位から百万円単位に変更いたしました。なお、比較を容易にするため第41期第1四半期連結累計期間及び第41期についても百万円単位に組替えて表示しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金などにより緩やかな回復基調にあったものの、欧州債務危機や円高の長期化により国内経済への先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、一部で個人消費の持ち直しが見られたものの、消費の停滞感や不安定な原油価格など、引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益221億32百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益16億94百万円（同5.3%増）、経常利益17億47百万円（同8.8%増）、四半期純利益8億70百万円（同5.1%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

物流センター事業

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億87百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、13億85百万円（同2.1%減）となりました。

営業収益におきましては、平成24年4月に取得した連結子会社（株）ジェイビーエスと前連結会計年度に受託したセンターが順次業績に寄与したものの、不採算荷主との契約解除及び業務内容等の一部変更により前年に比べ減少しております。

また、営業利益におきましては、新センター立上げ等による先行コストの発生により前年同期に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、6社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した2社を含めた8社のうち4社稼働しております。残りの4社につきましては、平成24年7月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により70センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、（株）ジェイティービー物流サービス（平成24年4月に（株）ジェイビーエスに商号変更）の株式を取得し、連結子会社としております。

貨物自動車運送事業

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、115億45百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は、3億6百万円（同58.6%増）となりました。

営業収益におきましては、主に家電関連の物量減少により、前年同期に比べ減少しております。また、営業利益におきましては、主に近物レックス（株）における日々管理の充実により前年同期に比べ増加しております。

近物レックス㈱における取組みにおきましては、平成24年6月より、積載率の低い曜日の幹線便の見直しを実施し、外注費を月額約16百万円抑制しております。また、毎週開催の定例会において、労務費及び外注費等の抑制を中心に日々の管理強化をしております。こうした取組みにより、同社の営業利益は、前年に比べ、1億12百万円増加しております。

今後の近物レックス㈱の取組みといたしましては、継続して日々管理の強化を実施していくとともに、既存顧客への営業強化と、有料道路の使用区間及び外注費単価の見直しによる経費圧縮を実施してまいります。

(2) 財政状態の分析

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億28百万円増加し853億92百万円となりました。これは主に、新たに連結子会社の増加等により、流動資産が11百万円、固定資産が2億17百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比5億18百万円減少し、562億63百万円となりました。これは主に、連結子会社が増加いたしましたが、借入金が4億25百万円、未払法人税等が7億77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比7億46百万円増加し、291億29百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億70百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から29.5%へと増加しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,356,000	8,356,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株でありま す。
計	8,356,000	8,356,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		8,356,000		4,045		3,951

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,347,800	83,478	
単元未満株式	普通株式 5,400		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,356,000		
総株主の議決権		83,478	

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式12株が含まれております。

2. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 ハマキョウレックス	静岡県浜松市南区 寺脇町1701-1	2,800		2,800	0.03
計		2,800		2,800	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに变更いたしました。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,442	4,468
受取手形及び売掛金	3 12,072	3 11,924
商品	3	3
貯蔵品	132	126
その他	1,201	1,339
貸倒引当金	36	35
流動資産合計	17,816	17,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,450
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	4,211
有形固定資産合計	61,810	61,797
無形固定資産	1,981	2,096
投資その他の資産	1 3,555	1 3,670
固定資産合計	67,347	67,565
資産合計	85,164	85,392
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,076
短期借入金	24,708	25,159
未払法人税等	1,515	738
賞与引当金	546	534
役員賞与引当金	46	14
その他	4,590	5,227
流動負債合計	37,570	37,752
固定負債		
長期借入金	9,658	8,782
退職給付引当金	4,915	4,955
役員退職慰労引当金	348	373
その他	4,288	4,400
固定負債合計	19,211	18,511
負債合計	56,782	56,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	17,210
自己株式	8	8
株主資本合計	24,486	25,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	23
その他の包括利益累計額合計	12	23
少数株主持分	3,908	3,953
純資産合計	28,382	29,129
負債純資産合計	85,164	85,392

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	22,373	22,132
営業原価	20,213	19,874
営業総利益	2,160	2,258
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	-	1
役員報酬	116	109
給料及び手当	139	134
賞与引当金繰入額	20	20
役員賞与引当金繰入額	12	12
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	9	16
その他	245	261
販売費及び一般管理費合計	551	564
営業利益	1,609	1,694
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	20
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	14	34
雑収入	61	54
営業外収益合計	147	159
営業外費用		
支払利息	109	95
雑損失	41	11
営業外費用合計	150	107
経常利益	1,605	1,747
特別損失		
投資有価証券評価損	6	10
災害による損失	4	-
特別損失合計	10	10
税金等調整前四半期純利益	1,594	1,736
法人税、住民税及び事業税	646	734
法人税等調整額	39	30
法人税等合計	685	765
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
少数株主利益	80	100
四半期純利益	828	870
少数株主利益	80	100
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	16
その他の包括利益合計	5	16
四半期包括利益	903	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	823	859
少数株主に係る四半期包括利益	79	95

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	33百万円	34百万円

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形割引高	1,294百万円	1,213百万円
受取手形裏書譲渡高	0 "	8 "

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	6百万円	20百万円
支払手形	310 "	268 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	709百万円	735百万円
のれんの償却額	5百万円	8百万円
負ののれんの償却額	50百万円	50百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月19日 取締役会	普通株式	158	19	平成23年3月31日	平成23年6月17日	利益剰余金

(注) 配当金の内訳 普通配当17円 創立40周年記念配当2円

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 取締役会	普通株式	158	19	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,613	11,760	22,373		22,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	425	544	544	
計	10,731	12,186	22,918	544	22,373
セグメント利益	1,415	193	1,608	0	1,609

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,587	11,545	22,132		22,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	127	340	468	468	
計	10,715	11,885	22,601	468	22,132
セグメント利益	1,385	306	1,692	2	1,694

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、当該変更による各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

(企業結合等関係)

重要な企業結合等はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	99円18銭	104円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	828	870
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	828	870
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,401	8,353,188

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年5月19日開催の取締役会において、平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 158百万円
1株当たりの金額 19円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年6月20日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8 月 8 日

株式会社ハマキョウレックス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷 津 良 明

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 剛 己

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマキョウレックスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマキョウレックス及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。